

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	東京地下鉄株式会社
---------	-----------

整備方針	
全期間	・ホームドア全駅整備完了 ・エレベーター乗換ルート及び複数ルート整備、多機能トイレ整備の推進 ・日比谷線各駅のホームと車両の間の段差・隙間の縮小完了等
2021～2025年度	・ホームドア整備の推進 ・エレベーター乗換ルート及び複数ルート整備、多機能トイレ整備の推進 ・日比谷線各駅のホームと車両の間の段差・隙間の縮小完了等
2026～2029年度	・ホームドア整備の推進等 ・エレベーター乗換ルート及び複数ルート整備

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額 (円)	10	10	(※1)	-
年間徴収額 (百万円)	6,021 (※2)		4,954	-
料金徴収 対象駅	全180駅			
備考	<p>(注) 設定額は税込額</p> <p>※1 通勤定期券、全線定期券への設定料金 1か月：370円、3か月：1,050円または1,060円、6か月：1,990円または2,000円</p> <p>※2 上記券種のほか、各種回数券、団体乗車券からの徴収額を含む。</p> <p>鉄道駅バリアフリー料金を加算した運賃に関する詳細は、別途周知する。</p>			

年間徴収額	10,975 百万円
徴収期間	7.5 年間 (2023.3 ~ 2030.9) ※2030年10月以降の継続について検討予定
総徴収額	82,312 百万円
総整備費	82,547 百万円
	2021～2025年度の計画： 51,911 百万円
	2026～2029年度の計画： 30,636 百万円 ※2030年度以降の継続について検討予定

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2021.4～2026.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	39 駅	83 番線	21,654 百万円
エレベーター	2 駅	4 基	3,032 百万円
段差隙間縮小に資する設備	20 駅	40 番線	332 百万円
バリアフリースイレ	4 駅	4 ヶ所	103 百万円
車両のフリースペース		100 両	93 百万円
備考	・ホームドア： 新設（21駅45番線）、延伸（18駅38番線）		
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	39 駅	76 番線	4,677 百万円
エスカレーター	43 駅	95 基	6,350 百万円
その他		4 駅	413 百万円
備考	・その他：運行情報提供設備（自動旅客案内装置）		
② 車両更新			
路線名	整備数		整備費
半蔵門線	19 編成	190 両	3,015 百万円
ホームドア整備等 との一体性について	半蔵門線ホームドアの早期整備等を実現するため、ホームドアに対応したATO装置等搭載かつ、 車両の床面高さを低くした車両等に更新する。（整備費はホームドア整備・段差解消に資する装置 のみ対象）		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）		11,659 百万円	
収受システム改修費		126 百万円	
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		457 百万円	
備考	・維持管理費： ホームドア、エレベーター、エスカレーター、運行情報提供設備（自動旅客案内装置）		

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（(1)～(3)の合計）	51,911 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		45	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	2	駅

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2026.4～2030.3）

整備内容		
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	1 駅 3 番線	1,774 百万円
エレベーター	1 駅 1 基	566 百万円
車両のフリースペース	162 両	134 百万円
備考		
(2) 更新費（附帯費用含む）		
① 設備更新		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	97 駅 197 番線	11,874 百万円
エスカレーター	27 駅 66 基	5,670 百万円
備考		
② 車両更新		
路線名	整備数	整備費
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費（附帯費用含む）		10,535 百万円
収受システム改修費		83 百万円（※）
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		- 百万円（※）
備考	・維持管理費：ホームドア、エレベーター、エスカレーター、運行情報提供設備（自動旅客案内装置） ※ 2030年度以降の本制度活用の継続について検討予定のため、本制度終了時に必要となる収受システム改修費及びその他費用について、本様式には計上していない。	

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（(1)～(3)の合計）	30,636 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		3	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	1	駅